

ミスミグループ本社 2015年3月期 第3四半期累計 連結業績

～ 国内や中国の好調が牽引し、売上高・利益ともに高成長が継続 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2015年3月期 第3四半期（2014年4月1日～2014年12月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	増減率
売上高	127,152	151,546	+19.2%
のれん等償却前 営業利益※	16,566	20,716	+25.1%
営業利益	15,013	19,081	+27.1%
純利益	9,338	11,816	+26.5%
1株当たり純利益	103.08円	129.75円	

※Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

<2015年3月期 第3四半期累計の連結業績ハイライト>

1. 国内市場や中国市場における自動車業界やエレクトロニクス関連業界の需要増の取り込みにより、売上高・利益ともに好調を継続

- 2015年3月期 第3四半期累計の売上高は1,515億円、前年同期比19.2%の増収となり、高成長が継続しました。
- 国内経済は、消費税率引上げ後の需要の反動減やそれに伴う生産の弱含み傾向は下げ止まりを見せつつあるものの、個人消費には依然として弱さが見られ、足元の景況感の停滞により消費増税が延期されるに至りました。世界経済は、米国で回復基調が継続しているものの、欧州ではギリシャ等の政府債務問題や物価下落の顕在化などの懸念材料が増加、中国では景気の拡大テンポが緩やかになり、アセアン地域においては総じてやや減速感が見られました。
- こうした環境下、当社グループは、海外の現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、価格だけでなく利便性の向上に努めることで顧客の潜在ニーズにえています。また、海外において大手顧客を中心に広がる短納期・大口ニーズに 대응すると同時に、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みも着実に実を結んでいます。
- こうした結果、売上高については、自動車業界やスマートフォン関連を中心としたエレクトロニクス業界の需要増を取り込んだことにより、国内や中国において好調が継続し、全体の増加を牽引しました。
- 利益については、売上の増加や最適調達に向けた現地生産・現地調達の着実な推進などにより、営業利益は190億円（前年同期比+27.1%）、純利益は118億円（同+26.5%）となりました。

2. 全セグメントで2ケタ増収

- 2015年3月期 第3四半期累計のセグメント別売上高は、以下の通り全セグメントで前年に対して2ケタ増収となりました。

(百万円)	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	増減率
F A事業	60,027	72,848	+21.4%
金型部品事業	41,686	47,490	+13.9%
VONA事業	27,715	34,670	+25.1%
小計	129,429	155,009	+19.8%
調整額(期ズレ等)	▲2,276	▲3,463	—
合計	127,152	151,546	+19.2%

- 2015年3月期 第1四半期より、報告セグメントの区分を変更しており、増減率については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で算出しています。
- 新たな流通事業として取り組んでいるVONA事業は、非効率・高コストの流通プロセスを独自のモデルで変革し、強力な基幹システムとウェブで顧客の利便性を向上させることにより、流通モデルの変革を起こすことを狙っています。
- VONA事業では、取扱いメーカー数と品揃えの拡大により、着実に売上を伸ばし、前年同期比で25.1%の増収率となりました。

3. 海外売上高比率は46.0%（前年同期比+1.1pt）に上昇

- 2015年3月期 第3四半期累計の海外売上高は697億円（同+22.1%、現地通貨ベース+13.3%）、海外売上高比率は46.0%（同+1.1pt）となりました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高(百万円)		増減率	
	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	円ベース	現地通貨 ベース
日本	70,044	81,843	+16.8%	—
海外	57,107	69,702	+22.1%	+13.3%
中国	16,184	22,068	+36.4%	+26.4%
アジア	16,377	19,422	+18.6%	+10.8%
アメリカ	16,431	17,481	+6.4%	-0.9%
ヨーロッパ	6,329	7,977	+26.1%	+18.2%
その他	1,785	2,753	+54.2%	+30.9%

- 国内では、自動車およびスマートフォン関連業界の需要増を取り込み、大手顧客を中心に広がる短納期・大口ニーズにも応え、高い伸び率となりました。
- 海外においては、中国でEMS等の大手顧客のスマートフォン関連需要などを取り込み好調に推移した一方で、アジアでは韓国やタイの景況感の低迷、米国では自動車メーカーのリコール問題による影響などにより弱含みました。

4. 2015年3月期連結業績は売上高・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し
- 2014年10月29日公表の通期業績予想に変更はありません。
 - なお、通期業績予想は、売上・利益ともに過去最高を更新する見通しです。

2015年3月期 連結業績予想（2014年4月1日～2015年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益	1株当たり 配当金
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通期予想	200,700	23,300	22,900	13,800	151.48	37.84
前期実績	173,904	18,989	19,168	11,678	128.82	32.16
前期比	+15.4%	+22.7%	+19.5%	+18.2%	+22.66	+5.68

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2015年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2015年3月期 第3四半期累計の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 経営総務室 広報・IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372 mail : cc@misumi.co.jp</p>
